

開講科目名 / Course	教育学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	鈴木 篤	
担当教員名 / Instructor	鈴木 篤	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育に関する本質的理念について、これまで自らが有してきた理解を問い直す。 2. 教育についての基礎理論・思想を理解し、説明することができる。 3. 教育の歴史的発展過程を理解し、今後の変化についての見通しを持つ。 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育の具体的場面と関連づけながら、教育に関する理念・思想・歴史について説明できる。 2. 学校教育について俯瞰的に説明できる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 「教育」とは何か（教育の理念1） 02. 学校教育の長所と短所（教育の思想1） 03. 「子ども理解」とは何か（教育の理念2） 04. 学校教育の歴史、養護教諭の歴史（教育の歴史） 05. 教育の「評価」とは何か（教育の理念3） 06. 体験の教育的意味（教育の思想2）、「共同体」としての学校（教育の理念4） 07. 「反省的实践家」としての教師（教育の理念5） 08. 現代的教育課題 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供も行う。 ・具体的な教育場面をもとに、受講者が話し合う機会を設ける。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画に基づき、授業開始前に資料などに目を通すこと（8h）。 ・授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習をおこない、基本的な概念について自分なりの理解を構築する（10h）。 ・期末レポートの作成（4h）。 	
評価方法と評価割合	本授業では、講義内容について理解が十分であるかどうかを基準に評価を行う（100%、定期試験では自らの作成した手書きのノートのみ参照可）。なお、教員の免許状取得のための必修科目であることから、教師としての資質能力育成のため、教職志望者として不適切な受講態度を減点の対象とする。	
テキスト	毎回ハンドアウト、資料を配布する。	
参考書	教師という仕事・生き方 若手からベテランまで教師としての悩みと喜び、そして成長（日本標準） 5年3組リョウタ組（角川書店）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		